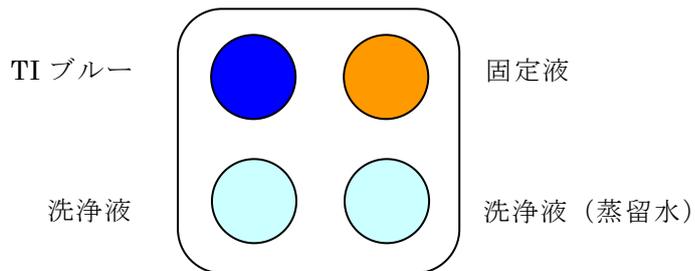


## TIブルー染色キット使用法

SEM用キット（低真空観察試料を対象にしております）

日新 EM 株式会社

- ・ 4穴プレートの1箇所、乾固したTIブルーがあります。
- ・ 残りの3穴のうちの任意の1つに所定の固定液を適量入れて下さい。
- ・ 他の2つには水洗用の蒸留水を適量入れて下さい。（容器全体の窪みを利用する事も可能です）
- ・ スクリューチューブ内の希釈液全量（約200 $\mu$ l）を、お手元のピペットやシリンジ等で吸入しTIブルーの穴に注入して下さい。（乾固したTIブルーが全て溶けるようにして下さい）
- ・ 試料を所定時間固定液に入れ、取り出したら1つの水で1～2分洗います。
- ・ 添付の濾紙で水を吸い取った後、TIブルーの液に1分～20分浸漬します。  
（浸漬時間は試料により異なります）
- ・ 残りの水で1～2分洗います。
- ・ 余分な水を濾紙で吸い取り、SEM試料台にセットします。
- ・ 観察には反射電子モードをお勧めします。



※試料の固定及び染色中は、液の蒸発を防ぐために、プレートのフタで覆って下さい。

※希釈後まれに液中に結晶状の物が出る事があります。その時はミニザルト RC4等のフィルターをシリンジに装着してろ過してご使用ください。  
（品質に問題はありません。）

TIブルーの廃液は、重金属扱いとして廃棄処理して下さい